

# 技術士会講演会について

## 【第一部】 南海トラフ地震に対する防災減災の取組

### 【講演概要】

南海トラフ地震は、中部地域において 17 万人以上の死者と約 70 兆円の経済被害を及ぼすと推定されています。被害を最小化するためには、迅速な救援・救護、緊急物資の輸送、物流の混乱やサプライチェーンの断絶による経済活動への影響回避など、各機関が緊密に連携し、事前に十分な対策を講ずる必要があります。

東日本大震災の教訓を踏まえ、運命を共にする中部圏の国、地方公共団体、学識経験者、地元経済界等が幅広く連携し、「南海トラフ地震対策中部圏戦略会議」を 2011 年 10 月に立ち上げ、南海トラフ地震等の巨大地震に対して総合的かつ広域的視点から 一体となって重点的、戦略的に取り組む課題について取り組んでいます。

### 【講師略歴】 国土交通省中部地方整備局 総括防災調整官可児 裕 氏

昭和 57 年 建設省中部地方建設局（現国土交通省中部地方整備局）採用

近年 河川部地域河川課長、河川管理課長、河川工事課長、水災害予報センター長  
天竜川ダム統合管理事務所長 を経て現職。

## 【第二部】 地震津波シミュレーションによる被害予測と防災・減災対策

### 【講演概要】

2011 年に甚大な人的・物的被害をもたらした東北地方太平洋沖地震を教訓に、内閣府は 2012 年に南海トラフの巨大地震モデル検討会を設置し、2003 年に中央防災会議が公表した東海・東南海・南海地震に関する想定を再検討しました。このように、今後、最大クラスの地震・津波の災害特性を把握・検討するとともに、沿岸域の防災・減災対策を講じることが必要不可欠といえます。

本講演会では、まず津波の基礎知識と基本特性、東日本大震災における津波被害について説明します。そして、迫り来る南海トラフ地震津波を対象とした数値シミュレーションによる被害予測について東海地方を中心に解説するとともに、防災・減災に向けた対策について参加者の皆様と一緒に考えたいと思います。

### 【講師略歴】 (株)ハイドロソフト技術研究所開発センター長 川崎 浩司 氏

1998 年 3 月 名古屋大学大学院工学研究科土木工学専攻博士課程

2005 年 4 月 名古屋大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻・助教授

現在 株式会社ハイドロソフト技術研究所・執行役員兼研究開発センター長  
兼務：名城大学・特任教授 大阪大学・客員教授

### 【専門分野】 海岸工学，沿岸環境工学

## 会場アクセス

ウインクあいち

愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38

JR 名古屋駅桜通口からミッドランドスクエア方面 徒歩 5 分

ユニモール地下街 5 番出口 徒歩 2 分

詳細：日本技術士会中部本部ホームページと中部建設部会へ

定員：100 名

申し込み締め切り：10 月 12 日（水）ただし定員に到達次第



参加費(資料代含む):一般・非会員 2,000 円、正会員 1,000 円、準会員・学生(大学院生を含む)は 500 円

懇親会:17:30~19:00 (参加自由)会費 3,500 円

申込書:下記(該当する□を塗りつぶしてお申し込み下さい)

講演会(資料代を含む)	<input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席	参加費:2,000 円
懇親会	<input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席	参加費:3,500 円
氏名(所属)		
連絡先(TEL/E-Mail)		

本紙に記入の上、E-Mail または FAX で「日本技術士会中部本部中部建設部会」宛にお申し込み下さい。

E-Mail: [g-chubu@asahi-net.email.ne.jp](mailto:g-chubu@asahi-net.email.ne.jp)

Tel:052-571-7801

Fax:052-533-1305